

令和4年度第2回酒田市女性活躍推進懇話会
～女性活躍を進めるための施策について考えよう～
＜施策のアイデア＞

開催日：令和5年2月14日
場所：酒田市民会館「希望ホール」

◆ 職場 ◆

【セミナー・研修会】

＜自らできる企業には助成＞

- 女性リーダーの育成（起業や政治家）
- 女性管理職の育成
- 経営者向け（発想と行動の転換を促す。ワークショップ型で）
- 上司向けコーチング研修
- 若手職員向け

管理職では
足りないよ



・研修の様子は経営者も傍聴・見学！
・リーダーの会に対する社員教育のバックアップ

【働き方】

- ・働きたい形で働ける（ジョブ型の人材登録と活用を酒田市独自に）
- ・どういう働き方がしたいのか選べるようにする
（女性管理職を増やすため必要な体制や研修なく管理職にさせるのは×）
- ・小さい事業所への支援・周知 ・仕事も家事も子育てもバランス選べる環境づくり
- ・長時間労働をしなくてもよい仕組みづくり
（その人しかできない仕事でなく、みんなができるようにする）

【育休人材バンク】

- ・人材バンク（育休・家事の代行などを行ってくれる人材バンクがあると安心して任せられることができる）
- ・ジョブ型育休代替人材バンク（人材バンクを活用し、育休産休を取らせやすい環境をつくる）
- ・子供を産む女性が小さな組織でも、産休・育休が取得できる人的職場環境整備に市が支援する（酒田市の職員の方が）

【その他】

- ・新卒女性の職種の拡大(女性向けとされてこなかった職種に。Yamagataみらい職種図鑑参照)
- ・リーダーの会参加企業から多様なロールモデル創出するための施策⇒青年会議所と協力
- ・ジョカツの取り組みを各種助成金の要件とする ・女性活躍企業に対する入札時の優遇
- ・企業向け“だけじゃない”新しい働き方に支援 ・世帯で所得を増やす ・DXの活用⇒可視化を簡単にできる

【テーマ】

- ・企業の代表者や管理職の意識を拡充（変えるのではなく）のための男女ともに働きやすい環境づくり
- ・上司も一緒に参加する意識・行動変容につながる講座 ※例）男性育休取得、女性管理職登用など
- ・男性企業トップへ向けた育児家事セミナー、子育て体験（JCでもやる予定）
- ・男性育休前講座（マタニティ講座のように段階的に。ママが教えるのもあり）
- ・上司を含めた研修（対話スキル、女性キャリア、リーダー研修等）
- ・ジョカツ実践セミナー&ワークショップ
※女性従業員と管理者・雇用主が同時出席。フィードバック方法の実践も行う
- ・市主催のキャリアセミナー ※半日又は一日のスケジュール
（目的：管理職を目指す女性の意識改革と企業の管理職・経営者の理解促進）
- ・酒田市と青年会議所との共同企画（全国の中での女性活躍についての成功事例を学ぶ会）
- ・女性従業員と管理者・雇用主が同時出席。フィードバック方法の実践も行う

【意識改革】

- ・職種・業種ごとに根付いている無意識の偏見・差別を減らす
（見つめなおす。COVID-19からの脱却のタイミングで）
- ・男性、企業トップの意識改革（家事育児／育休）
- ・男女ともに子育て・介護しながら働く環境へ経営者等の理解促進
- ・育児休暇を取得しやすい職場、働きながら育児できる職場づくり（雇用側の意識を変える）
- ・事業主の意識改革・女性エンパワーメント
- ・男女の差がなく家事・育児をするためのサポート（育休など）が受けられる環境・理解
- ・市内に無数に存在する小さな組織に「女活」の重要性を情報提供する
- ・リーダーの会に参加し今必要なことを勉強する
- ・えるぼし・くるみん認定の企業数増加

【女性管理職】

女性管理職(者)の配置(トップに女性がいること)で働きやすい環境ができる（をつくる）

◆家庭◆

【家事代行】

家事代行の利用・理解促進！

- ・サービスの利用と利用者への助成（賃金の底上げも必要）
- ・気軽に利用できる環境づくり（家事負担の軽減）

【サブスク】

サブスク利用で家事を簡単に！

- ・家電・食材配達レシピの活用。男性にもできる環境作り
- ・家電などのサブスク・食材キット等生活を楽しむサービスの支援・周知
- ・時短につながる便利家電のサブスクや購入を市が助成する
- ・家事が楽になる家電のサブスクを作る
- ・便利家電のサブスクや購入助成（家事・子育ての時短につなげる）
- ・便利家電のレンタルやサブスク化（調理家電、お掃除ロボット、かんたん設置食洗器などを一カ月等短期間で安く貸与。家電を楽（手抜き）にする）
- ・新しい視点での子育て支援 便利家電おためしサブスク支援（0～3才。移住者）

【アプリ】

- ・家事分担に関わるアプリの開発（幼稚園のコドモンが便利）
- ・夫婦の家事時間の見える化（PCCP。アプリの転用。DX）
- ・家事に全員参加（得意な部分だけでも分担して）見える化できるアプリシステム
- ・家事をアプリで可視化。誰が何をしているのか理解し考える。
- ・男性の家事参加。アプリの活用。男性（家事シェアしてる人）の紹介
- ・何らかのアプリ開発（家事・子育ての見える化。役割分担の確認。男性の参加を促す。家事分担チェックリストのアプリ化。子供がチェックする（GIGA））

【その他】

- ・家事シェア（+見える化）コンテスト ・家事分担の軽減を社会が認める（評価する）
- ・CO2取引のようにおむつや子育てグッズを民間が購入して保育園に贈呈。花王だけに頼らず地域の企業が子供を育てるシステム
- ・地域で家事シェア（おばあちゃんたち）。ファミサポ家事版
- ・地域行事、祭の運営、準備、片付けを男女分け隔てなく参加する（できる）意識改革
- ・男性があたり前に家庭のことをするようになったとき、孤独にならない環境（男性の産後うつもあるよ!）
- ・同じような悩み課題を持つ人とコミュニケーションがとれる場所（環境）作り。産後ケア施設とかもほしい

◆その他◆

【女性活躍推進川柳】

市全体の機運UP

- ・川柳を活用し意識付けに繋げる
- ・二次利用、交通標語のような見せ方 ・街角やバスに掲示

【廃校利用他】

- ・廃校をリノベーションし、老若男女のコミュニティの場をつくる（新生児～中学生一環教育システム、オーガニック系を加工し食べ物の販売、いじめ撲滅の相談室）
- ・調理室・給食室などを市民が利用しやすい共同加工場に（低料金、高クオリティの食品製造で女性が働きやすい場。クラッセ（庄内町）、遊佐等のように）
- ・移住に興味を示す首都圏の若者を気軽に空き家・廃校の1室を。地域の人との交流、市外・郊外等々様々な場所で移住体験ができる場に。ジェンダーにもwelcome。
- ・60歳～80歳の女性、子育てママ世代の手仕事(笹巻・しそ巻き・山菜加工)場として。働きたくても4時間くらいが限度の方はこれから更に多くなる。今までの会社のルールではなく、新時代に合わせた短時間・高時給の場を生み出す

◆社会環境・教育◆

- ・「酒田男子」が家庭人として生きていける教育
- ・男子小中高生を対象にサバイバルスキルとしての家事育児身の回りの整理整頓などのスキルトレーニングを
- ・小・中・高校生など若い世代からの家事育児参画を意識付け
- ・小・中学生から自分らしさを考えられる教育の機会をつくる（できることはできる人がする。できないことは助けを借りる）
- ・誰もが許容されるまち（子育てするしない、結婚するしない等々LGBTQ+）意識醸成
- ・若者は男女共同参画、平等の意識あり（バブル崩壊以降に生まれ日本の右肩下がりしか知らない世代）。その世代が社会の中心になる20～30年後には男女共同参画が実現する（女性活躍の言葉がなくなる）それまでの期間、トップダウンで行政・企業が女性を後押しするためクォータ制や登用のファストパスを続けていくしかない。環境整備では前に進まない
- ・子供たちが酒田で育ち、よそへ行き、また酒田へ戻りたいと思うきっかけの一つとなるよう「酒田の方言」を大切なアイデンティティに。関西・九州など西の方は方言に誇りを持っている人が多いが東北は少ない。方言は地元へのほこりに比例し愛着もわく。小学校から学校内で方言を学び使う場を。